

文化・芸術

「From Kiryu#2」

2020年、発色現像方式印刷
74.5cm×51.5cm
(作者蔵)

石内 都 (1947年)

国内外で活躍を続ける写真家・石内都さんの生地、桐生における大規模個展は、当館開館以来、初めてとなる全展示室を使った企画展となります。

本展では、石内さんのもとに長年保管されてきたデビュー作「絶唱、横須賀ストーリー」をはじめ、1976年に桐生、笠懸周辺で撮った「はるかなる間(ま)」(当館所蔵)、79年に木村伊兵衛賞を受賞した「APARTMENT」、日本各地の赤線跡を被写体として現在も撮り続ける「連夜の街」、亡き母の日常のものを写した「MOTHERS」、被爆した人たちの遺品を独自のまなざしで撮り続ける「ひろしま」の新作をはじめとする代表的なシリーズに、石内さんがプリントしたビンテージプリントを多数加えた構成でたどります。また、桐生の街をとらえた近作「From Kiryu」も初めて展示いたします。

いよいよ10日開幕です。初日には展示室で石内さんと本人によるオープントークを開催します。どうぞお楽しみに。

(小此木)

《名画の扉》

企画展「石内都
STEP THROUGH TIME」から

